

2021年度

第53回 事業報告

自 2021年 1月 1日

至 2021年12月31日

2022年度

事業計画書

一般社団法人鴨川青年会議所

目次

★2021年度事業報告

理事長報告	3
副理事長・専務理事・監事報告	5
事項別事業報告	
1. 組織	7
2. 会議	7
3. 理事会	8
4. 例会	14
5. 委員会報告	
会員拡大特別委員会	16
6. 収支決算報告書	21
7. 事務局準備金明細書、周年準備金明細書、固定資産明細書、貸借対照表	23
8. 財産目録、監査報告書	24
9. 正味財産増減計算書	25

★2022年度事業計画案

理事長所信	26
委員会事業方針・事業計画	30
収支予算	31
組織図	33
役員名簿・出向者名簿	34
年初決定事項	35

理事長報告

【スローガン】

鎌輪奴（かまわぬ）

2021年度 理事長 小越 友

2021年度のスローガンは、「鎌輪奴」(かまわぬ)とさせていただきました。所信に記載した「人に何を言われてもかまわぬ、私は私の道を歩みます」のあとに、『人は、一人でできることは限られていて、信頼できる仲間や家族がいて支えてくれるからこそ一流の芸ができる。だから「かまわぬ」と言えるのだ』と続きます。理事長の任を全うし、この言葉に強く共感を得ました。正会員や諸先輩方、賛助会員、地域の方々に支えられ鴨川青年会議所は活動しているのだという事を感じ、1年間支えてくれたことに、本当に感謝しております。

2021年度、理事長の大役をお預かりするにあたり、「自分の第53代では、鴨川青年会議所を解散させない」と決意しました。私は、鴨川青年会議所に入会して10年になります。勿論53年間の全ての鴨川青年会議所の活動を振り返ることはできませんが、諸先輩方の話を聞き、このままでは鴨川青年会議所の名前すら聞けなくなってしまうような事態を何としてでも避けなければならない。と強く感じました。解散してしまえば、これまでの鴨川青年会議所で培ってきた、諸先輩方の鴨川への思いや貢献、仲間への敬意や信頼が失われてしまいます。鴨川青年会議所に何も貢献できていなかった自分が理事長の職をお預かりすることによって、第54代の理事長に繋げられればこの先も鴨川青年会議所の活動を継続できると信じて1年間活動してきました。

自分自身10年間の歳月を青年会議所で過ごしてきましたが、仕事との折り合いがつかず、思うように参加できないことが多く、理事の経験すらありませんでした。そんな自分に理事長が務まるのか、自分自身も不安でしたし、それ以上にメンバーやOBの皆様の中にも不安に思う方もいらしたかと思えます。しかし、青年会議所で培った信頼できる経験豊富なメンバーが自分の出来ない事をフォローしてくれ、青年会議所の活動と継続へと導いてくれたと思っています。

社会情勢が不安定の中、次年度へ引き継ぐため、2020年度より会員を一人でも多く増やそうと考え、企業出向で参加いただいているメンバーへの継続をお願いし、自分の身近にいるJC運動への興味関心のある方へ入会を促し、3名の新入会員を得ることができました。社会情勢が不安定で例会の中止も余儀なくされる中、私たちが理事長としてできる事は、モチベーションをできるだけ高い状態で次の理事長に引き継ごうと、各地会員会議所理事長とも常々話し合うことができました。結果として、鴨川青年

会議所の正会員は年当初の会員数より多く、次年度に引き継ぐことができました。自分自身、理事長を経験させていただき、今までに無い経験や新たな仲間を得ることができ、成長できたと思います。そして、一年間活動を共にした仲間との友情と情熱を2022年度も引き継ぎ励んでいきたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

1年間ありがとうございました。

副理事長・専務理事・監事報告

副理事長 福原 基暢

2021年度は副理事長兼務会計と、要職を2つお預かりさせて頂きました。副理事長としての職務については、反省すべき点が残りました。理事会に全て出席できなかったところなど、至らないところがあり、自分自身でも不本意な一年になりました。しかしながら、会計に関しましては、職業的な能力を活かすことができたと思います。本年度から会計ソフトを導入することにより、以前に比べスピーディかつより正確な決算資料を作成することができました。また、この会計ソフトは来年以降にも使用することができるように設定をしましたので、将来的にも活用できるものになったと自負しております。本年度は会員の減少に伴いコンパクトな会となってしまうしましたが、小越理事長のもと、積極的に会員の勧誘活動を行い、新入会員の増加につなげることができました。また、人数が少ないことを生かして、より会員の団結が強まった一年であったと思います。本年度無事に活動することができたのも諸先輩方、会員の皆様のご協力があつてこそだと思います。誠にありがとうございました。また来年度以降も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

専務理事 須金 幹晴

2021年度は、小越理事長の掲げるスローガン「鎌輪奴」(かまわぬ)のもと、一年間活動してまいりました。2回目の専務理事の職を仰せつかり、混乱する社会情勢下のなかでも一年間無事に活動できたことは、理事長をはじめとする正会員、諸先輩方のご支援があつてこそと、心から感謝申し上げます。

正直なところ会自体の存続の危機があり、経験不足のメンバーばかりでJC運動をしつかりと遂行できるか不安でした。私にとってこの一年は、JCとしての経験の浅い小越理事長をお支えし、千葉ブロック協議会他各種事業への参加もできる限り今まで通りの姿勢を保ち、人数が少ないながらも会員相互の連携を強化しながら、運営を円滑なものにするということが大きな責務でした。負担の大きいものではありませんでしたが皆様のご協力のもと、無事に全行程を終えることができました。少ないからこそメンバー間の絆はより深まり大きなものへとなったと感じております。自分自身もこの一年で、さらに大きく成長できたと確信しております。個人的に残り少ないJCとしての活動期間、次年度以降の私のテーマは、会全体のスキルアップと後進への指導、バックアップであると感じております。鴨川青年会議所メンバー一人ひとりの魅力と力を十分に引き出し、地域に必要とされる団体であり続けるために尽力をしていこうと考えております。

最後になりますが、今後も益々精進し、社会情勢に応じた柔軟なJC運動を展開していこ

うと考えております。一年間の活動の皆様のお支えに感謝申し上げ、2022年度も変わらぬご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

監事 菅原 明善

2021年度は、小越理事長が掲げたスローガン「鎌輪奴-かまわぬ-」の下、会員拡大も目標の約半分達成することができました。今もなお新型コロナウイルスの影響はあるものの、昨年の経験を活かし、初めからオンライン中心にする事で活動することが可能となりました。準備したものが実行できずに終わるという事態は避けることができた事も、順応や進化を遂げた結果だと思えます。100%の達成感でやりきれたのかは分かりませんが、今やれる事、やるべき事を行動に移したことは、青年会議所らしく活動できた一年だと言えるはずです。

さらなるスキルや経験、そして仲間を得た今、この環境のおかげで強くなったと前向きに捉えていくことが肝心です。監事としてそう多くは力になれませんでした。現役と共に成長できた年となりました。一年間本当にありがとうございました。

監事 正木 邦明

2021年度（一社）鴨川青年会議所の活動に外部監事として参加させていただきました。正会員の減少や前年度から続くコロナ禍の影響により少ない人員での会の運営やオンラインを活用した事業展開など考えられることの多い一年となりました。これまでと違う環境の中でも小越理事長をはじめとする会員の皆様が試行錯誤し様々な事業を行い、更には55周年へ向けての道筋までを考えている姿を見て力強く、そして頼もしく感じました。50年以上続く歴史と諸先輩方の想いを是非とも次世代に引き継いでいただきたいと思えます。最後になりますが小越理事長お疲れ様でした。一年間、活動をともにさせていただきました。ありがとうございました。

監事 森谷 義真

2021年度は鴨川青年会議所にとって転機の年になったと思えます。会員減少に歯止めがかからず一時は解散も選択肢に上がる中で、小越理事長の「鎌輪奴 かまわぬ」のスローガンを旗印に、会員それぞれが一大奮起して活動に取り組む姿がありました。2020年度から引き続き、事業や会議が簡略化・オンライン化となり、思うようにならないも

どかしさもあったかと思えます。しかしながら、現状を嘆くのではなく、各自がその環境の中で何が出来るのかを考え、適材適所で行動することが出来ました。小越理事長を筆頭に、この前向きで正直な姿が新入会員の入会にも繋がったと思えます。「暗いと嘆くより、あなたがすすんで光を灯しなさい」という言葉があります。光に人は集まってきます。小越理事長の灯した光が、2022年度須金理事長の明るい笑顔によって、より大きな光となることをご祈念申し上げ、監事報告とさせていただきます。

事項別事業報告

1. 組織

年頭会員 6名

新入会員 3名

1. 田中 さゆり 君 2. 松岡 雛 君 3. 飯沼 愛莉子 君

退会者 1名

1. 松岡 雛 君

2. 会議

第1回定時総会

日時：2021年1月12日（火） 午後2時00分

場所：笹元 ※社会情勢悪化により正会員のみハイブリット開催に変更

審議事項

第1号議案 2020年度一般社団法人鴨川青年会議所委員会事業報告の件

第2号議案 2020年度一般社団法人鴨川青年会議所決算案・監査報告の件

第3号議案 2021年度一般社団法人鴨川青年会議所年初決定事項承認の件

第4号議案 2021年度一般社団法人鴨川青年会議所事業方針承認の件

第5号議案 2021年度一般社団法人鴨川青年会議所予算案承認の件

決定事項

第1号議案：全員一致で可決

第2号議案：全員一致で可決

第3号議案：全員一致で可決

第4号議案：全員一致で可決

第5号議案：全員一致で可決

第2回定時総会

日時：2021年9月14日（木） 午後6時00分

場所：ZOOM会議にて開催

審議事項

第1号議案 2021年度補正予算（案）承認の件

第2号議案 2022年度理事長予定者承認並びに選挙管理委員会経過報告の件

第3号議案 2022年度役員予定者承認の件

決定事項

第1号議案：全員一致で可決

第2号議案：全員一致で可決

第3号議案：全員一致で可決

3. 理事会

第1回（定例）

日時：2021年1月5日（火） 午後8時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：2020年度 収支決算（案）・正味財産増減計算書（案）・貸借対表
（案）承認の件

第2号議案：2021年度 収支予算（案）承認の件

第3号議案：2021年度 2月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

第4号議案：新入会員予定者承認の件（飯沼様 田中様 松岡様）

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

第4号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：2021年度 3月例会事業計画書（案）

第2回（定例）

日時：2021年2月3日（水） 午後8時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：3月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件
決定事項

第1号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：4月例会事業計画書（案）

第2号議案：5月例会事業計画書（案）

第3回（定例）

日時：2018年3月3日（水） 午後8時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：1月総会事業報告書（案）・決算（案）承認の件

第2号議案：2月例会事業報告書（案）・決算（案）承認の件

第3号議案：4月例会事業計画書（案）承認の件

第4号議案：5月例会事業計画書（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

第4号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：6月例会事業計画書（案）・予算（案）

第4回（定例）

日時：2021年4月13日（火） 午後9時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：3月例会事業報告書（案）承認の件

第2号議案：4月例会開催日・開催場所・登録料変更の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

討議事項

第1号議案：今後の例会事業について（6月例会・7月例会）

第5回（定例）

日時：2021年5月4日（火） 午後9時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：新入会員承認の件（田中 さゆり君）

決定事項

第1号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：6月例会事業計画書（案）

第2号議案：7月例会事業計画書（案）・予算（案）

第3号議案：8月例会事業計画書（案）・予算（案）

第6回（定例）

日時：2021年6月1日（火） 午後8時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：4月例会事業報告書（案）承認の件

第2号議案：6月例会事業計画書（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：7月例会事業計画書（案）

第2号議案：8月例会事業計画書（案）・予算（案）

第3号議案：9月定時総会事業計画書（案）・予算（案）

第7回（定例）

日時：2021年7月6日（火） 午後8時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：新入会員承認の件（松岡 雛君）

第2号議案：5月例会事業報告書（案）承認の件

第3号議案：8月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

第4号議案：9月定時総会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

第5号議案：2022年度理事長予定者承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：審議取り下げ

第4号議案：原案通り承認

第5号議案：原案通り承認

第8回（臨時）

日時：2021年7月9日（金） 午後9時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：8月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件
決定事項

第1号議案：原案通り承認

第9回（定例）

日時：2021年8月3日（火） 午後9時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：6月例会事業報告書（案）承認の件

第2号議案：新入会員承認の件（飯沼 愛莉子君）

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第10回（定例）

日時：2021年9月7日（火） 午後9時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：2021年度補正予算（案）承認の件

第2号議案：2022年度役員承認の件

第3号議案：2022年度組織図承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

第11回（定例）

日時：2021年10月5日（火） 午後8時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：9月定時総会事業報告書（案）・決算（案）承認の件

第2号議案：11月例会開催日決定承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：11月例会事業計画書（案）・予算（案）

第2号議案：2022年度理事長所信（案）

第12回（定例）

日時：2021年11月2日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：8月例会事業報告書・決算（案）承認の件

第2号議案：11月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

第3号議案：2021年度褒賞委員会発足の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：2022年度理事長所信（案）

第2号議案：2022年度年初決定事項（案）

第3号議案：2022年度委員会年間事業計画書（案）

第13回（定例）

日時：2021年12月7日（火） 午後9時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：2022年度年初決定事項（案）承認の件

第2号議案：2022年度理事長所信（案）承認の件

第3号議案：2022年度JC運動実践委員会年間事業計画書（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：審議取り下げ

第3号議案：審議取り下げ

協議事項

第1号議案：2021年度委員会年間事業報告 会員拡大特別委員会

第2号議案：2022年度収支予算（案）

第3号議案：2022年度1月新年総会事業計画書（案） 予算（案）

第14回（臨時）

日時：2021年12月22日（火） 午後9時00分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：2021年度11月例会事業報告（案） 決算（案）承認の件

第2号議案：2021年度委員会年間事業報告 会員拡大特別委員会承認の件

第3号議案：2022年度理事長所信（案）承認の件

第4号議案：2022年度J.C運動実践委員会年間事業計画書（案）承認の件

第5号議案：2022年度1月新年総会事業計画書（案） 予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

第4号議案：原案通り承認

第5号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：2021年度収支決算（案） 正味財産増減計算書（案）貸借対照表（案）

第2号議案：2021年度2月例会の件

4. 例会

- 1月 会員拡大特別委員会
2021年度 新年総会 鎌輪奴 かまわぬ
- 2月 会員拡大特別委員会
願 ～それぞれの思いを込めて～
- 3月 会員拡大特別委員会
J C I 鴨川 交流会 ～かまわぬ～ ※社会情勢悪化により延期
- 4月 会員拡大特別委員会
J C I 鴨川 交流会 ～かまわぬ～ ※社会情勢悪化により中止
- 5月 会員拡大特別委員会
靖国参拝 ～次世代へ繋いでいくべきもの～
- 6月 会員拡大特別委員会
ZOOMに慣れよう！！ 医師から教わる心肺蘇生法
- 7月 会員拡大特別委員会
※社会情勢悪化により例会実施せず
- 8月 会員拡大特別委員会
夏を切り撮れ！ ～KAMOGAWA Instagramフォトコンテスト～
- 9月 会員拡大特別委員会
2021年度9月定時総会
- 10月 会員拡大特別委員会
※社会情勢悪化により例会実施せず
- 11月 会員拡大特別委員会
鴨川街コン2021オンライン
- 12月 会員拡大特別委員会

※社会情勢悪化により例会実施せず

5. 委員会報告

会員拡大特別委員会

委員長 須金幹晴

副委員長 四井大介

委員 飯沼愛莉子 榊原寧 佐藤和幸 田中さゆり 松岡雛

◎本年度事業方針

2020年鴨川青年会議所は2つの危機に直面しました。コロナ禍による活動の自粛、そして、会員減少による鴨川青年会議所存続の危機です。前者は、予測する事もできないものでしたが、オンラインによって活動を継続することができました。しかし、会員減少は予測することが可能でした。私が入会した当時の会員数は45名を超えていましたが、2013年には、若い会員が入会しなければ、2018年には約10名になることが既に試算されていました。

なぜ予測できた危機を回避できなかったのか。私は、2つの課題があったと思います。1つ目は鴨川市内在住の若者の減少が想定を超えていたこと。特に会員の主となる、鴨川市内の事業継承者の減少は想像以上で、会員拡大の行く当てがない。あるいは既に何度も断られている。こうしたジレンマが続いている現状です。2つ目は組織の課題です。青年会議所の特徴として、多種多様な職種の会員が混在し、活動も多岐に渡って行っています。当然、就業時間や休日も異なり、都合をつけられる者、そうではない者の両者がいます。会員の減少に伴い、両者はお互いに今まで以上にJC活動に取り組まなければならなくなりました。当然それは会員各々の負担となり、不満やモチベーションの低下を生んでしまいます。

2021年度は正会員6名。その内3名が出向での参加となり、組織の維持すら危うい状況です。この先、鴨川青年会議所を存続させるには、若者の減少と組織の課題を解消することが急務となります。それには、若者なら誰でも入会できる広い間口と受け入れた人材の負担にならない環境整備が必要です。そして、誰でも理事長になれる環境を整えなければ、鴨川青年会議所の存続は不可能であると考えています。

これらのヒントは、コロナ禍で行った活動にありました。簡略化やオンラインで行った、理事会や例会、委員会などです。若者らしい新たな技術の導入や、負担の軽減化によって新たな時代の青年会議所活動を模索しなければならないと思います。組織の環境整備を進め、興味関心の高い例会を行い、参加者の入会を促します。参加者には、JC活動の意義や魅力を幅広く伝え、年間を通じてアプローチを行い、会員拡大を推進します。

◎本年度事業計画

1. 会員拡大5名実現
2. 例会の開催
3. 地域関連事業（ほこてん・花火大会など）への協力

◎各事業の経過報告

1. 本年度の新入会員は、飯沼愛莉子くん、田中さゆりくん、松岡雛くんの3名という結果になりました。目標の5名には至りませんでした。20代女性3名の拡大ができたことは今後の会の運営や拡大運動に良い流れをもたらすものであると考えます。
2. 不安定な社会情勢のなかで毎月に例会を開催することはできませんでしたが、都度社会情勢を考慮しながら、下記の通りに例会を開催しました。

1月 2021年度 新年総会 鎌輪奴 かまわぬ 1月12日（火） 笹元
新型コロナウイルスの影響や会員減少により、計画段階で例年に比べ規模を縮小した総会を予定していましたが、収束に向かっていて新型コロナウイルス感染者数が12月末に急激に拡大したことにより、急遽会場を変更し、総会資料の電子送付と委任状による採決を行うことにより出席者2名という、非常に寂しいスタートとなってしまいました。また事前に出席の返事をいただいていたシニアクラブ役員に関しては、直前での欠席依頼となってしまいました。

総勢27名 正会員 6名中2名出席 出席率33.3%

2月 願 ～それぞれの思いを込めて～ 2月16日（火） 誕生寺
日蓮聖人生誕800年記念イベントに、鴨川市教育委員会、市内学校の協力のもと、対象地域全児童・生徒の参加をいただき、一人ひとりがそれぞれの思いと願いを込めた短冊と、当会自主製作の竹灯籠を誕生寺に展示しました。現在のコロナ禍の早期終息を願うものが多く見受けられ、少しでも日常生活をどのように過ごすかを再考する場ができたと考えられます。現在の社会情勢下で行える青年会議所運動を少人数、低予算でも工夫して遂行することができました。

総勢263名 正会員 6名中4名出席 出席率66.7%

5月 靖国参拝 ～次世代へ繋いでいくべきもの～ 5月18日（火） 靖国神社
自国の歴史と誇りを直接確認でき、会として靖国神社正式参拝という貴重な体験ができました。また、特攻隊員が出撃前最後に食べたと言われる玉子丼も参加メンバー全員で食べ、心が洗われた感覚でした。様々な制限も鑑みながら短い滞在ではありましたが

る場となりました。

総勢 21 名 正会員 9 名中 7 名出席 出席率 77.8%

11月 鴨川街コン2021オンライン 11月27日(土) ZOOM
一昨年、鴨川市初の試みで開催された街コンを1年ぶりに開催しました。社会情勢を考慮し、オンライン開催にて行いました。オンライン開催ということについても鴨川市初の試みで、最大募集人員30名に達しない人数での開催となりましたが、参加者間の交流は非常に雰囲気が高く、非対面形式でも十分な交流の場を提供できることがわかりました。メンバー間からも反省点や次年度に向けた意見が活発に出て、メンバーの成長を促す良い例会となりました。

総勢 23 名 正会員 9 名中 6 名出席 出席率 66.7%

3. 本年、ほこてん及び花火大会は社会情勢を鑑みて開催されませんでした。地域関連事業のまるごみや棚田の明かり準備作業、小学校・中学校への講師参加等を各メンバー分担して参加しました。

◎本年度事業に対する反省

本年は、委員会名が示すように「会員拡大」を一番の念頭に活動を行いました。しかしながら昨年から続く不安定な社会情勢下で毎月の例会開催が行えず、思うように拡大活動、事業を遂行することができませんでした。そのようななかでも事業を通して亀田総合病院の医師とも交流することができ、精力的な拡大活動にて3名の女性新入会員を迎えられたことは、近年また今後の鴨川青年会議所の会員拡大活動に大きな変化をもたらすものになったと感じております。

年当初、例年通りの存分な協力体制の維持ができるか不安であった地域関連事業への協力については、都度分担してできる限りの協力を行い、地域に対し青年会議所活動の質を落とすことなく遂行できました。

事業構築の際の会議に関する手続きに関しては、予想していた通り一人ひとりの負担が増し困難なことが多かった一年でした。社会情勢上毎月の例会開催が行えず、簡略化してしまうこともありましたが、少数精鋭信頼できる仲間と共になんとかやり抜くことができました。しかしながら事業構築、青年会議所として本質的な要の部分である議案作成手順においては、現状それを遂行できるメンバーが限られているという問題点が浮き彫りになりました。

次年度以降も青年会議所としてしっかりと活動していけるように、会員拡大はもとより

現会員一人ひとりのスキルアップにも注力することを本年度の反省、次年度への引継ぎとさせていただきます。

総じて、本年一年を振り返りまだまだ不安な社会情勢で満足のいく青年会議所運動はできませんでしたが、メンバー一丸となり現状できる事はやりきったのではないかと思います。困難なことでも楽しく感じられるのは信頼できる仲間と共に多くの時間を共有し、情熱と誇りをもっているからこそだとあらためて感じております。次年度以降も変わらぬ運動を展開できるよう精進いたします。一年間誠にありがとうございました。

6. 収支決算報告

2021年1月1日から2021年12月31日まで			
会計: 一般会計			
事業区分A: 本会計			
		(単位: 円)	
科目	摘要	金額	
110 入会金収入		45,000	
100 入会金収入	新入会員3名×15,000	45,000	
120 会費収入		1,100,000	
100 正会員会費収入		760,000	
100 年会費収入	正会員6名×120,000	720,000	
110 その他会費収入	特別会員1名40,000	40,000	
110 特別会員会費収入	シニアクラブ	340,000	
120 賛助会員会費収入		0	
130 事業収入		0	
150 預り金収入		0	
110 その他雑収入		0	
160 雑収入		15	
100 受取利息収入	郵便局・銀行利息	15	
002 前期繰越収支差額		2,771,584	
	合計	3,916,599	

経費決算明細書			
2021年1月1日から2021年12月31日まで			
会計: 一般会計			
事業区分A: 本会計			
			(単位: 円)
科目	摘要	金額	
600 事業費支出		816,594	
100 事業費支出		816,594	
120 本部関係費支出		53,000	
300 旅費交通費支出	会員会議所会議 他LOM新年会・周年他		0
900 渉外費支出	全国大会 京都会議他		53,000
150 資料作成費支出			0
500 資料費支出	総会資料		0
180 渉外費支出		328,760	
910 役員渉外費支出	会員拡大 消毒用アルコール寄付金		328,760
930 記念品代支出	理事長記念品		0
190 旅費交通費支出		48,460	
320 交通費支出	ブロック・他LOM事業参加費		48,460
230 寄付金支出	ボーイスカウト 国際交流協会		0
250 預り金支出			0
260 会員拡大特別委員会事業費支出			386,374
120 事業予備費支出	事業予備費		0
610 管理費支出		406,272	
100 会議費支出			0
140 通信・発送費支出	電話 FAX 切手代		167,978
150 消耗品費支出	事務用品 コピー用紙		29,719
160 会員支給品費支出	手帳 名刺		123,150
170 リース料支出			0
200 光熱水料費支出			6,865
210 貸借料支出			0
220 業務委託支出			0
260 渉外費支出	慶弔費		40,000
270 雑支出	銀行振込手数料他		38,560
620 負担金支出		183,388	
100 JCI負担金支出	正会員6名×1,612他		9,438
110 日本JC負担金支出	正会員6名×5,000+30,000他		60,000
120 地区協議会負担金支出	正会員6名×1000+10,000他		17,000
130 ブロック協議会負担金支出	正会員6名×5,000+20,000他		68,000
140 国際協力資金支出	正会員6名×5×365日他		10,950
160 WeBelieve購読料支出	正会員6名×3,000他		18,000
630 他会計への繰入金支出		0	
110 特別会計への繰入金支出			0
001 予備費支出		2,510,345	
	合計		3,916,599

7. 事務局準備金明細書、周年準備金明細書、 固定資産明細書、貸借対照表

事務局準備金明細書						
(単位:円)						
	前年度残高	本年度繰入額	本年度取崩額	受取利子	残高	
事務局準備金	0	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	0	
周年準備金明細書						
(単位:円)						
	前年度残高	本年度繰入額	本年度取崩額	受取利子	残高	
周年準備金	0	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	0	
固定資産明細書						
(単位:円)						
	購入金額	購入年度	償却期間	前年度評価額	本年度償却額	評価額
アンプー式	181,230	2007年	5年	1	0	1
プロジェクター	215,000	2006年	5年	1	0	1
合 計	396,230			2	0	2
貸借対照表						
(単位:円)						
科 目	金		額			
1. 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金		2,460,343				
流動資産合計			2,460,343			
2. 固定資産						
什器備品		2				
電話加入権		50,000				
固定資産合計			50,002			
資産合計				2,510,345		
2. 負債の部						
負債合計				0		
3. 正味財産の部						
正味財産				2,510,345		
(内当期正味財産増減額)						
負債及び正味財産合計				2,510,345		

8. 財産目録、監査報告書

財産目録

(単位:円)

科 目	金	額
1. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
①現金 現金手有許高	110,876	
②普通預金		
千葉銀行鴨川支店 No.1054108	1,653,453	
京葉銀行鴨川支店 No.2287173	0	
千葉興業銀行鴨川支店 No.2749251	696,014	
③郵便預金		
(a) 郵便局 No.10520-65532951	0	
(b) 郵便局 No.10580-35932871	0	
流動資産合計		2,460,343
2. 固定資産		
什器備品 プロジェクター	2	
電話加入権	50,000	
固定資産合計		50,002
資産合計		2,510,345
2. 負債の部		
負債合計		0
正味財産		2,510,345

監査報告書

自 2021年1月1日
至 2021年12月31日

2021年12月31日、一般社団法人鴨川青年会議所事務局に於いて菅原明善、正木邦明、森谷義真監事は、2021年度の収支決算書、事業報告書、財産目録等関係書類を詳細に監査した結果、その内容が適正で誤りの無かった事をご報告申し上げます。

2021年度監事 菅原明善

正木邦明

森谷義真



9. 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書			
(2021年12月31日現在)			
			単位:円
科目	金額	金額	金額
(増加の部)			
1	資産増加額		
	什器備品	0	
	準備金	0	
	当期収支差額	0	
	増加額合計	0	
(減少の部)			
2	資産減少額		
	当期収支差額		-261,239
	固定資産除却額		0
	準備金		0
	電話加入権		0
3	負債増加額		0
	減少額合計		-261,239
	当期正味財産増加額		0
	当期正味財産減少額		-261,239
	前期繰越正味財産額		2,771,584
	期末正味財産合計額		2,510,345

2022年度 理事長所信

理事長 須金 幹晴

《スローガン》

必笑

《基本理念》

仲間を信頼し、自信と誇りをもち青年会議所運動を实践する。

《基本方針》

自己成長

会員拡大

強い絆と地域愛

《はじめに》 ～青年会議所運動は誇り～

2019年より世界に蔓延している新型コロナウイルス感染症により、社会も私たちの生活も一変しました。物事に対する感覚や考え方も同様です。当たり前に行えることが当たり前に行えなくなる社会となりました。

青年会議所においても、会議・事業の手法をはじめ様々なところで変革を余儀なくされました。緊急事態宣言までもが発令され、コロナ禍と言われる不安定な社会情勢で、一時は事業自体の中止や事業規模の縮小など青年会議所運動自体が思う様にできない時もありました。

そのようななかでも、私たちは社会・地域が必要としているものは何なのかと知恵を絞り、手作りマスクの配布、消毒用アルコールの寄付など小さなことでもできることをやろうという運動を行いました。この様な運動は、鴨川の地域内において様々な団体や企業にも伝播して行われる様になりました。

この種の運動の広がり全国的にも見られ、どの地域でも青年会議所運動がその先駆的な役割を担っております。英知と勇気と情熱と時代の求める柔軟な発想と行動力をもった青年会議所運動は、いつの時代もどの地域にも、社会の先駆けとなるものとして必要とされる存在であり、継続しなければならないものであると強く信じております。そしてその運動の一端を担えることに誇りをもっております。

《自己成長》 ～全ては自分自身のために～

【修練】

運動・事業を展開するうえで最も重要な基本方針として、青年会議所を自己成長の場と捉え、会員それぞれが家族や企業、そして自分自身のために青年会議所運動を実践して参ります。

青年会議所という名のもとに集う私たち青年世代は、社会を形成するうえで最も発言力、影響力、実行力等を備えた世代であるべきです。JC三信条の一つである「修練」は青年会議所運動を通してこのようなスキルを身につけ、社会・仕事・自身の生活に寄与していくものだとして解釈しております。私の経験のなかで青年会議所は、自身のスキルアップには絶好の場であると自信をもって言えます。失敗や困難なことから学ぶ知識や実行力は必ず自分自身の実生活に生きるスキルとなります。

会員数が減少し、10名にも満たない活動体となり、本質的な会議体の構成、各事業の企画立案、議案・報告書作成、地域関連事業への協力等一人ひとりの負担・労力は確かに苦しいものであります。しかしながらそのような困難なことも、妥協することなく信頼できる仲間とともに切磋琢磨しながら一丸となり遂行していき、修練することを自身のスキルアップに繋がる「楽しさ」に変えます。一人ひとりが困難ななかでも必ず笑える、笑いに繋がる、笑いを広げる運動を目指します。

《会員拡大》 ～他では得られない絆～

【友情】

数年来会員減少の一途を辿る鴨川青年会議所は、上述の通り遂に2021年度10名にも満たない会員数での活動となりました。今後の会の在り方について真剣に議論がされ、一時は、解散という選択も考えましたが、会員全員で何とか会を存続させようと強く結束しました。地域柄、絶対的な企業数が少ないことや、企業後継者の減少、会員対象者の不足、会員のモチベーションの低下など様々な要因に加え、昨今の不安定な社会情勢も助長し、毎年会員拡大を最大の目標に掲げているものの、大きな成果を挙げられていませんでした。

会員拡大を行う意識として発想の転換をすべきです。例年重要な基本方針として掲げられていたこともあり、無意識のうちに、会員拡大の一番の目的として「鴨川青年会議所の存続のため」という意識が働いていたはずですが、会員拡大をする意識・テーマとして「共に活動し、笑いを共有する仲間を増やす」というものへと発想の転換をいたします。

青年会議所運動はメンバー同士が非常に濃密な時間を共にします。お互いが切磋琢磨し、時にはぶつかり合いながらも団結し様々な運動・事業を展開します。知人・友人とは少し違う別次元の関係とも言える深い友情・人間関係が構築できます。他では得られない、一生大切にできる絆が生まれます。

人の繋がり・豊富な人脈・多様な人間関係は人生を明るく豊かにし、より良い方向へと導いてくれる大切な財産です。多様性に満ちた青年会議所での縁を大切に、新しい仲間と必

ず笑える、笑いに繋がる、笑いを広げる運動を目指し、「自分自身のために」多くの仲間を増やすという目的のもと会員拡大を行って参ります。

《強い絆と地域愛》 ～笑あふれる地域のために～

【奉仕】

私たち鴨川青年会議所は少ない人数ながらも、危機的な状況を乗り越え強い絆で結束し、意欲的に運動を継続しております。確かに困難であり、一人ひとりの負担・労力は私が入会した頃とは比べ物になりません。しかし人数が少ないからこそ仲間を信頼し合う強い結束力・絆が生まれ、困難なことも楽しく思えるようになりました。

現会員の半数以上は純粋な鴨川生まれ鴨川育ちではありません。別の地域で生まれ育ち、仕事・生活の拠点が鴨川になり入会をしています。私の好きな考え方で「血より地」という考え方があります。人種や国籍・生まれた育った地域よりも自らが選んだ実生活の拠点地域を優先させるという考え方です。まさに鴨川青年会議所メンバーはこれを実践しています。鴨川の地域に生活の拠点を選び、この地域のために奮起し青年会議所運動をともにしてくれていることに、あらためて最大級の感謝と敬意を表します。地域を想う心・地域愛は誰にでも芽生えるものであり、それは地域をより良くしようとする運動の活力の源です。

私たち鴨川青年会議所は、自身が生活する地域を愛するが故に、この地域をより良くしようと志を同じくしています。鴨川市は、海と山に囲まれ自然環境豊かなまちです。地域の魅力を引き立たせ、この地域で生活する人々が地域を愛し、そしてその愛を広げ、未来を期待し繋げることでできる運動を青年らしい発想と行動力で展開します。

また、鴨川をはじめとする南房総地域の人口減少や過疎化の流れは進んでいく一方です。そのような時だからこそ、持続可能な社会、元気と活力あふれる地域の創造とそれを未来に繋げる役割は、間違いなく私たち青年世代です。不安定な社会情勢下においても、地域に必要とされるリーダーと組織になるべく精進しながら強い絆と地域愛で、地域の未来、そして自分自身のために、笑いのあふれる、笑いに繋がる、笑いを広げる運動を展開して参ります。

《結びに》 ～未来は私たちに委ねられている～

鴨川青年会議所は、発足以来54年目を迎えることとなりました。この歴史を継承することへの感謝と誇りを持ち、多くの諸先輩が繋いでこられた青年会議所運動を、メンバー一丸となり情熱をもって行うことを強くお誓い申し上げます。

私の掲げるテーマは「笑」です。それは単なる嬉しさやおもしろさの感情表現の「笑」だけではありません。何かをやり遂げた時に自然と生じる「笑」、他者との意思疎通が充分なものとなった時の「笑」、幸せだと感じた時ににじみ出る「笑」、悲しみや苦しさを乗り越えその向こうにあるものを見据えた時に心の底から出る「笑」、色々な「笑」です。言い換えれば達成感、満足感、幸福感、充実感、安堵感、願いと言えるかもしれません。

未来がどうなるかは誰にもわかりませんが、誰に委ねられているのかはわかります。それ

は間違いなく私たち青年世代に委ねられており、青年会議所運動はその先駆けとなるべく邁進いたします。運動を通じて自身が心から笑える、地域や他者に笑いを伝播させ、共に栄えることを目指します。

最後に、一日も早い事態の終息とすべての人が安心して生活を取り戻すことを切に願いつつ、皆様からの一層のご協力、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、2022年度第54代理事長所信とさせていただきます。

2022年度 委員会事業方針・事業計画

J C運動実践委員会

委員長 田中 さゆり

2022年度、(一社)鴨川青年会議所は、正会員8名でのスタートとなります。会員の減少が進む中で少しずつ活動の規模や幅が縮小する傾向にあり、更に会歴の長いメンバーを中心に活動することで人手不足をカバーしている現状となっています。こうした活動では、会歴の浅いメンバーの成長の機会を奪い、次世代へのノウハウの継承と自己成長の妨げとなってしまいます。J C運動実践委員会では一年を通じて自己成長と魅力あるJ C運動に注力し、各々の活動への積極的な参加を促し、新たな会員を増やすきっかけとします。

J C運動の魅力とは、議案の作成や事業構築に詰められています。会員同士の人間関係の構築から始まり、会議の進行の仕方やプレゼンテーション、そして各々の得意分野を発揮、あるいは未知の分野を知る機会となり、事業実施後には達成感と自己成長を感じることができます。経験の浅い会員を中心に事業構築を行い、経験豊富な会員が導くという、基本に立ち戻り、J Cの魅力を感じて会員一人ひとりが共に成長できる環境を目指します。

また、日本青年会議所の議案書式が変更されて久しくなりますが、鴨川青年会議所では未だに、以前の議案書式を採用しており、会員の多くが日本青年会議所の議案書式に不慣れとなっている事が課題に挙げられます。書式の変更を視野に入れ、全員で新たな書式での議案作成の練習を行い、各地会員会議所やブロック協議会との連携力の強化を図ります。

私たちはJ C運動を通じて、新時代の旗手として行動しなければなりません。積極的に新たな技術や知識を取り入れ、活用する事で地域に波及させなければなりません。それを行うには、多くの仲間と人と人との繋がり、そして実践する機会が必要不可欠となります。私たちの活動が地域の指針となり、地域の発展に一役立てるよう、一年間活動を進めてまいります。至らない点や未熟な点も多くあるかと思いますが、どうぞご支援ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

[事業計画]

1. 会員拡大
2. 例会の開催
3. 地域関連事業への協力
4. 千葉ブロック協議会事業への協力

2022年度 収支予算

収入予算明細書		
2022年1月1日から2022年12月31日まで		
会計：一般会計		
事業区分A：本会計		
(単位：円)		
科目	摘要	金額
110 入会金収入		150,000
100 入会金収入	新入会員10名×15,000	150,000
120 会費収入		1,100,000
100 正会員会費収入		800,000
100 年会費収入	正会員6名×120,000 2名×40,000	800,000
110 その他会費収入		0
110 特別会員会費収入	シニアクラブ	300,000
120 賛助会員会費収入		0
130 事業収入		0
150 預り金収入		0
110 その他雑収入		0
160 雑収入		20
100 受取利息収入	郵便局・銀行利息	20
002 前期繰越収支差額		2,510,345
合計		3,760,365

経費予算明細書						
2022年1月1日から2022年12月31日まで						
会計:一般会計						
事業区分A:本会計						
						(単位:円)
科目	摘要		金額			
600 事業費支出			1,498,000			
100 事業費支出			1,498,000			
120 本部団関係費支出			340,000			
300 旅費交通費支出	会員会議所会議 他LOM新年会・周年他				100,000	
900 渉外費支出	全国大会 京都会議他				240,000	
150 資料作成費支出					30,000	
500 資料費支出	総会資料				30,000	
180 渉外費支出					418,000	
910 役員渉外費支出	会員会議所会議登録料 他LOM新年会・周年他				418,000	
930 記念品代支出	理事長記念品				0	
190 旅費交通費支出					80,000	
320 交通費支出	ブロック出向者 ブロック・他LOM事業参加費				80,000	
230 寄付金支出	ボーイスカウト				30,000	
250 預り金支出					0	
260 JC運動実践委員会事業費支出					600,000	
120 事業予備費支出	事業予備費				0	
610 管理費支出			624,720			
100 会議費支出	総会				0	
140 通信・発送費支出	電話 切手代等				224,220	
150 消耗品費支出	事務用品				45,000	
160 会員支給品費支出	名刺 ネームプレート 他				200,500	
170 リース料支出					0	
200 光熱水料費支出					0	
210 貸借料支出					20,000	
220 業務委託支出	役員登記料等				75,000	
260 渉外費支出	慶弔費				50,000	
270 雑支出	銀行振込手数料他				10,000	
620 負担金支出			227,401			
100 JCI負担金支出	正会員9名×1,664他				14,976	
110 日本JC負担金支出	正会員9名×5,000他				75,000	
120 地区協議会負担金支出	正会員9名×1000他				19,000	
130 ブロック協議会負担金支出	正会員9名×5,000他				75,000	
140 国際協力資金支出	正会員9名×5×365日他				16,425	
160 WeBelieve購読料支出	正会員9名×3,000他				27,000	
630 他会計への繰入金支出			0			
110 特別会計への繰入金支出					0	
001 予備費支出			1,410,244			
合計					3,760,365	

2022年度（一社）鴨川青年会議所役員名簿

理事長	須金 幹晴		
直前理事長	小越 友		
副理事長	福原 基暢		
専務理事	四井 大介		
理事	佐藤 和幸	田中 さゆり	
監事	金杉 司	斎藤 英之	菅原 明善

2022年度 出向者名簿

(公社) 日本青年会議所 関東地区 千葉ブロック協議会

組織拡大委員会

副委員長 榊原 寧

2022年度 年初決定事項

- | | |
|---------|------------------------|
| 1. 例会日 | 第2木曜日 |
| 会場 | 房総鴨川温泉 是空（事務局） |
| 2. 理事会 | 第1火曜日 |
| 会場 | 房総鴨川温泉 是空 及び ZOOM |
| 3. 会費 | 正会員（入会3年以上） ￥ 120,000- |
| | 正会員（入会3年未満） ￥ 40,000- |
| | 入会初年度正会員 ￥ 0- |
| | シニアクラブ ￥ 300,000- |
| | 賛助会員 ￥ 0- |
| 4. 入会金 | ￥ 15,000- |
| 5. 例会担当 | J C 運動実践委員会 |